

県民の友

昭和44年380号 12発行 和歌山県知事室広報課
和歌山市小松原通91丁目1番地

「愛の訪問員」

そつと愛情を運ぶ…

Iちゃんには表情がない。泣くも、笑うも、みんな心の中に閉じこもってしまう。Iちゃんは、かわいそうな寝たきりの重症心身障害児。

だが、Iちゃんのまわりは、やさしい愛情につつまれている。お父さんの、お母さんの、そして、そつと愛情を運んでくる『愛の訪問員』のおばちゃんの…。

Iちゃんの両親は「きさくで、何でも相談でき、奥さんに来てもらうと心強い」と、月二～三回の訪問を待ちわびる。

那賀郡桃山町元、堀恵美さん。41歳。主人に高校の先生をもつ。大学生、高校生と二人の子供を育てた年輪がものをいう。話しつぶりに入柄がしのばれる。

「まっ先に応募したんですよ。だって、健康な私が家にくすぶついてはもったいないでしよう。何か社会のお役に立ちたくって」愛の訪問員―家庭で療養中の重症心身障害児のお世話をしたり、家族の相談相手をするボランティアである。昨年、十一月十五日の「愛の日」とともに、全国に先がけて和歌山県で発足した。現在、県内で五十七人。堀さんは、そのトップをきつて志願した。

「やってみて、本当に大切な仕事だと思いました。二重、三重の不幸を背負ってきた子供さんのお世話をするのはもちろん、それ以上に、そうした子供を持つた家庭の話し相手になることです」重症心身障害児を持つた家庭はともすれば閉鎖的になる。だから十年来、そろつて外出したことがない家庭もあるという。Iちゃんの家庭もそうだった。IちゃんとMちゃんは、寝たきりの障害児。最初、家庭を訪問した際、「うちの子は寝たきりで手がかからないから結構」と断わられた。しかし「もし、お母さんが病気になつたり、世話ができないくなつたら、誰がするの。もっとつきあいを広くして、他人になれる子供に育てましよう」再三の説得と訪

写真……
Iちゃんのまわりはやさしい愛情につつまれている

十一月のある日。

きょうも、堀さんは自転車でIちゃん宅へ急いでいた。貴志川を渡る川風はIちゃんの気持ちを運んでくるようだ。

「おばちゃん早くこないかなあ、荷物かごに、Iちゃんの大好きな乳ボーローがはいつていた。

- ・困つたことや心配ごとはもよりの心配ごと相談所へ。
- ・あなたの善意をもよよりの善意銀行へ。
- ・生活に困っている家庭や福祉施設のために「金品持ち寄り」運動を行いましょう。
- ・福祉施設や病院へ慰問やはげましの行事を行いましょう。

みんなで明るいお正月を

- ・歳末大すけあい運動
- ・12月1日～31日

問が両親の心を開いた。いまでは堀さんの奔走で、Mちゃんは、日高郡美浜町にある重症心身障害児施設で、元気に機能回復訓練を行っている。堀さんも、Iちゃんのお世話をとともに、両親のよき相談相手としてIちゃん一家に欠かせない人となつた。

そして堀さんはもう一軒、かたくなに訪問を断わり続けるAちゃん宅に働きかける。「歩進んで一步後退、今もなお、両親の心の窓を開いてもらおうと手紙を出し続けている。

愛の訪問員の仕事は、ほとんど無奉酬に近い。見返りのない献身的な奉仕である。ところが、こうした堀さんの生活に、「もの好きなな…」「自分のことでも手いっぱいなのに…」という人もある。

「でも、そうした世間の偏見が不幸な家庭をより閉鎖的にしているのではないでしょか。みんなが暖かい心づかいで、そうした子供や家庭を見守つて行かなければ…。それが、健康な生活をおくることもある。私たちの責任ではないでしょか」とことしも「歳末助け合い運動」がくりひろげられるそうですが、これを機会にもつとつと、たくさんの人達が愛の訪問員になつてしまい」堀さんは六十、七十になつてもこの仕事を続けて行きたいといふ。社会にそうした偏見がなくなるまで…と。



県議会だより

県議会九月定例会は、九月三十日に召集され、十月十八日まで十九日間にわたって開かれ、補正予算、条例などを慎重審議、いずれも原案どおり可決されました。本会議中に行なわれたおもな質問、答弁は次のとおりでした。

●Ⅱ質問

●Ⅱ答弁

国体後の県政の指標は

●万博、国体の開催を県勢飛躍発展の土台として、経済開発、社会開発、街の美化などが積極的に推進されているが、国体後の県政の指標をどこに求められるか

国体万博終了後も、スペ

ーツの振興、新県民運動の

推進、基盤整備などを推進して、生活格差、地域格差の是正につとめたい。なお植樹祭、紀州博についても十分検討したい。

原子力発電所誘致について

●紀南の原子力発電所誘致について、県職員が推進派の人達と國へ陳情を行つたと聞く。また原発の安全性については、炉の欠陥問題や事故発生のときの措置、敷地基準などから不安な点が多い。

▼県職員が原発賛成派の人

と出張したのは、国立公園地内に原子力発電所を設けることについて厚生省の考

え方を聞くためであつた。

炉の欠陥は実情を調査のうえ善処したい。法による自

主、民主、公開の三原則は守

られるべきであり、安全性

については、重大事故、想定

事故を想定して、その確保

につとめているようである

が、具体的には国の安全審

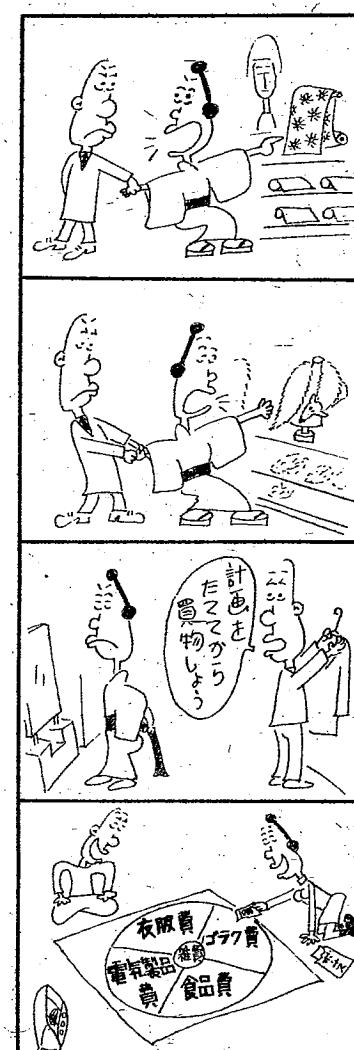
査委員会が決めることがあ

る。

●和歌山市内の化学工業団

地について

おとぎ話

漫遊街アート
川柳文庫喜びの山東、栗栖、金森氏
(向って右から)

晴れの県文化賞

県の文化の振興に尽くした人たちをたたえる県文化賞の贈呈式が、十一月一日県庁で行なわれました。

本年度の受賞者は、金森、栗栖、山東の三氏に

文化賞と賞状、副賞（十万円）を贈りました。

金森さんは「名譽ある賞

を受け、心から感謝します」

栗栖さんは「いつそう郷土文化のために尽くしたい

ます。いつまでも文化のか

大橋知事は、「文化界の

リーダーとして敬意を表し

ます。山東さんは「芸術は心のあ

らわれ。これからも芸術の

追求に励みます」とそれぞれ喜びを語られました。

受賞者の略歴

金森義雄さん（八〇）文化活動、戦時中、和歌山文化連盟を結成し、戦後も和歌山ユネスコ運動の生みの親として育成、発展に尽力。

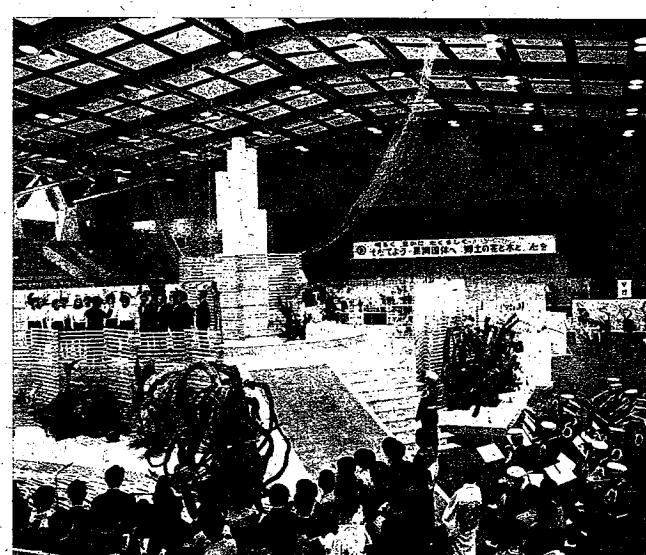
昭和二十五年、和歌山文化協会設立の発起人代表となるなど文化活動の功績は大きい。尺八の名手。昭和四十年、勲五等瑞宝章を受章。開業医で、自宅は和歌

市小松原通り一の一。

栗栖安一さん（六六）郷土史、無形文化財、民俗資料の研究に尽力。昭和三十六年以来、県文化財専門審議会委員など文化関係の役職をつとめ、「紀州の先覚者たち」「郷土の人物」などを執筆。歌人としてもすぐれ同人歌詩「ぐぐひ」を主宰現在、県政史編さん委員。自宅は和歌山市西浜五の三五きい。尺八の名手。昭和四十年、勲五等瑞宝章を受章。開業医で、自宅は和歌山市杭瀬三八八。

郷土の美と調和

県内一円で《第2回》県民文化祭



（県民のみなさん、「郷土の美」をもう一度再確認していただこうと、郷土の美と調和をシンボルテマとして、昨年に引きつづき、「第二回県民文化祭」展、いけばな芸術祭、報道写真展の合同展が催されました。）

（文学・花・写真）の立体構成

（文学展は、県内の各市町村にある文学碑の拓本や詩歌によまれた場所、風物などの写真約百点を展示。いけばな芸術祭は、県内各流派の総数三百点にのぼる大花展。また、学園紛争、アーバン十一号など各新聞社の報道写真展は見学者に好評でした。）

（文学展は、県内の各市町村にある文学碑の拓本や詩歌によまれた場所、風物などの写真約百点を展示。いけばな芸術祭は、県内各流派の総数三百点にのぼる大花展。また、学園紛争、アーバン十一号など各新聞社の報道写真展は見学者に好評でした。）



（問）万国博を見学したいと思いますが。

（答）会場への交通の便としては鉄道を利用する場合

（問）万国博を見学したい

と思いますが。

（答）夜間を利用されることが望ましいでしょう。

（問）日曜や祝日をさけて、平日

（答）予定時間にできるだけ多く見られるよう計画しておかれるとともに、なるべく超満員になる恐れもありますので、見

（問）学の時期なども十分

（答）検討されるようお願

（問）いします。

（答）入場券は、大人八

（問）百円、小人四百円で

（答）会場入口で購入でき

（問）ますが、発売窓口の

（答）混雑が予想されます

（問）のでできるだけ、前売券を

（答）買っておられるようお勧め

（問）します。前売券は、たばこ

（答）小売店か旅行代理店で売つ

（問）ています。なお、詳細は、

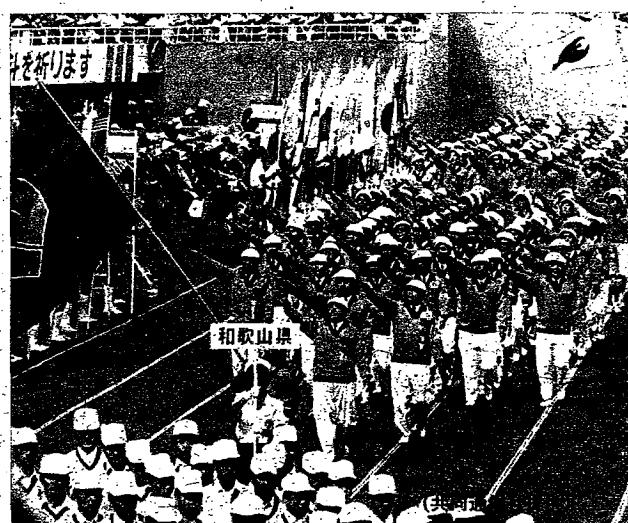
（答）県企画部総務課へ。

万国博を見学するには…

（問）（答）（問）（答）

若い力が台頭

黒潮国体へ明るい見通し



新県旗を先頭に堂々入場行進する本県選手団

十月二十六日から開かれ

た第二十四回秋季長崎国体

に、本県から大橋知事以下

二百九十四人の選手役員団

が参加、天皇杯四十二位、

皇后杯三十位の戦績をおさ

めました。黒潮国

二年後に迫った黒潮国

待をいたしました。

本番の黒潮国体に明るい期

取り組んだ選手強化第一年

次として、各種目とも得点

に結びつかない好成績を残

しており、来年の岩手国体

で、長崎国体のおもな成績は

次の通りです。

陸上：教員（高校）男子

百五十人ハーフドリル 優勝中谷隆

哉 教員砲丸投げ 優勝早

崎貴子 一般・高校教員女

子八百石 優勝三島恭代

教員（小・中学校）砲丸投げ 二位林慎一 青年男子

芳彦 三位高野庄同 六十二級同

走り高とび 三位長谷利秋

三級加藤隆三

レスリング：高校男子五

十二級グレコローマンス タイル 二位小崎光成

般男子五十七級同 三位 笹野庄 同六十二級同

相撲：二位青年男子

自転車：高校男子スクラ

弓道：三位一般女子

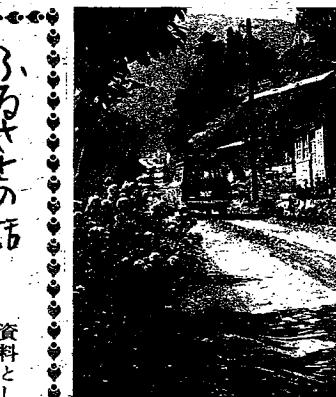
ライフル射撃：三位九鬼

タチ 優勝山下文男

般男子五十七級同 三位 笹野庄 同六十二級同

山岳：優勝和歌山（オーブン参加）

「山岳」優勝和歌山（オーブン参加）



山村に咲いた 花いっぱい運動

伊都郡花園村を通る県道
高野一清水線の沿道に色とりどりの花が咲きほころび

伊都郡花園村を通る